

産業部関係

■農林課

平成26年産米の生産数量目標は、県から当市に1万7140トンが提示され、面積換算値では3203・74haで、平成25年産米の配分より568トン(3・2%)の減です。これに基づき、1月27日に北秋田市農業再生協議会を開催し、JA鷹巣町に9351トン、JAあきた北央に7668トン、市内主食集荷商業者に121トンの生産数量目標の配分方針を示しました。

昨年発生した農地・農業施設災害は、国の査定がすべて終了しましたので、今後は工事発注を進め、春の農作業に支障をきたさないよう努めていきます。

松くい虫防除対策事業は、樹幹注入(118本)及び伐倒駆除(6本)の業務委託が完了しました。

■商工観光課

企業誘致対策は、1月15日、東京都において秋田県企業誘致推進協議会主催による「秋田県・県内市町村と首都圏企業との懇談会」が開催され、北秋田市の誘致企業を始め秋田

県内関連企業との交流を図りました。また、翌16日には、北秋田市企業立地協力推進委員懇談会を開催し、情報収集に携わる企業立地協力推進委員10人に委嘱状を交付しました。その後、県と市の企業誘致の取り組み状況を報告し、意見交換を行いました。

森吉山の樹氷鑑賞は、1月11日から3月9日までの日程で始まり、樹氷群という大自然の素晴らしさを多くの方が体感しています。

八幡平クマ牧場からのヒグマの移送は、12月16日から開始され、12月中に18頭、1月8日に1頭の合わせて19頭の移送を無事終え、現在、全頭が冬眠中です。



▲12月16日に行われた、八幡平クマ牧場からのヒグマの移送作業

第9回全国どぶろく研究会が、1月23日と24日の2日間にわたり、文化会館と交流センターを会場に開催されました。大会では、全国からどぶろく特区関係者243人が一堂に会し、基調講演や事例発表を始め、全国各地から出品された105銘柄のどぶろくコンテストや試飲会・交流会が行われました。

建設部関係

■都市計画課

住宅リフォーム緊急支援事業は、1月末で補助金交付決定数405件、交付決定額5778万8千円、対予算比約96%の執行です。

市営住宅宮前町団地整備事業は、実施設計業務が12月20日をもって完了し、本体工事の着手に向けた準備を進めています。

■建設課

除雪事業は、早朝の一斉出動日数が、1月23日現在で、鷹巣地区10日、合川地区20日、森吉地区16日、阿仁地区31日で、昨年度の3分の2程度です。

社会資本整備総合交付金事業は、舗装工事4件(大堤、昭和線ほか)、橋梁補修工事2件(ワシ橋・奥見内橋)、路面性状調査業務委託2件(摩当鎌沢線外3路線ほか)が完成しました。

道路工事関係は、道路維持工事2件(坊沢、前山線・高線)、道路改良工事2件(掛泥新墓地線・川井神社線)を発注し、道路改良工事1件(神成大岱線)、排水維持工事3件(本城新田目線ほか)が完成しました。

河川工事関係は、河川維持工事1件(務沢川)を発注しました。期成同盟会関係は、県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会で交通不能区間の解消と整備促進を求めた要望書を12月19日に北秋田及び山本地域振興局長へ提出しました。

公共土木施設災害復旧事業は、河川災害復旧工事16件(小摩当川ほか)、道路災害復旧工事6件(小阿仁線ほか)を発注しました。

■上下水道課

上水道事業は、前綱地区配水管布設工事が完了しました。

簡易水道事業は、新田目・福田ボンプ場解体撤去工事が終了しました。公共下水道事業は、鷹巣処理区において、脇神字平崎川戸沼地内で面整備工事及び坊沢字下夕上野地内で舗装復旧工事が完成し、綴子字美田古、田中表及び田中地内で面整備工事4件を発注しました。

浄化槽設置整備事業は、鷹巣地区30基、合川地区1基及び森吉地区5基が完成しました。

消防本部関係

■常備消防

災害対応特殊屈折はしご付消防自動車、12月11日に納車となり、取扱講習を5日間行った後、12月16日より運用開始しました。

平成25年中の火災発生及び出場状況等は次のとおりです。火災発生は、前年比2件増の18件です。救急出場は、前年比16件増の1546件、搬送人員は前年比28人増の1458人で、昭和47年の救急業務開始以来、件数、搬送人員とも最多です。ドクターヘリの要請は37件で、出動は24件、搬送は22件です。救助出場は、前年比25件減の44件です。また、捜索活動は7件で、生存発見4人、死亡発見3人です。

■非常備消防

1月4日の市消防出初め式では、鷹巣地区を会場に消防団員565人、婦人消防隊26人を始め、多数のご来賓と消防関係者が参加し、分列行進と式典を行いました。

教育委員会関係

■総務課

昨年12月鷹巣北部給食センターのボイラー故障事故により12月9日から25日まで給食の提供を停止していましたが、ボイラー入れ替え工事が

順調に終わり、試運転を経て3学期の始業式には給食の提供を再開しました。給食停止期間中は保護者を始め児童生徒、また教職員の皆様に多大なご迷惑をお掛けしました。今後、このようなことが無いよう施設管理に努めていきます。

統合合川小学校建設事業関係は、いずれも順調に推移しており、用地の造成工事は全て終了しました。現在行っている校舎の基礎工事も年度内には終了する予定です。

たかのす幼稚園は平成26年度の園児募集を行いました。入園希望者は1人でしたので、PTA、幼稚園評議員、地元自治会代表者の方々からの意見も聞き、今年度いっぱい閉園とすることとし、今定例会に閉園関係の条例を上程しました。

■学校教育課



▲市役所前に設置された、鷹巣中学校の駅伝チームの健闘を讃える看板

12月15日に山口県で行われた全国中学生駅伝競走大会に、鷹巣中学校の男女各チームが参加し、女子が県勢過去最高順位(4位)、男子が16位と大活躍しました。

1月9日には、市教育センター所員発表会が開催され、これまでの教育実践等について発表があり、所員が研修を深めました。

1月20日は、市教育講演会が開催されました。横浜高校の渡辺元智氏を講師に招き、「高校野球とわが人生」と題した講演を行い、渡辺氏のこれまでの経験や指導方法、考え方などをじっくりと聞くことができました。一般公開講座にしたこともあり、市内小中学校の教職員のほか、高校関係者、一般参加者など合わせて約320人の参加がありました。

■生涯学習課

(仮称)生涯学習交流施設については、実施設計が2月末で完了する予定です。

12月8日に行われた第3回「ふるさとの未来・再考!フォーラム」では、高校生レストランの仕掛け人・岸川政之氏の基調講演を行いました。その後のフォーラムでは、前田小学校や合川中学校、秋田北鷹高校家庭クラブが事例を発表し、パネルトークなどを通して地域づくりとその可能性について探りました。



▲生涯学習フェスタで、エコクラフト作りに挑戦する子ども

12月14日に公民館講座など生涯学習に励んでいる人たちが地域で社会参加の活動を行っている個人団体の方々(一堂)に会して「生涯学習フェスタ」が開催され、ステージ発表や体験コーナーなど多彩なプログラムを楽しまれ、交流を深め、学びの輪を広げました。

■スポーツ振興課

1月5日、第26回森吉山スキー大会及び第66回大館・北秋田中学校スキー大会クロスカントリー競技を、高津森クロスカントリーコースで開催し、97人の選手が力走しました。

1月26日には、第7回北秋田市民スキー大会を市営薬師山スキー場にて開催し、小学生の部から一般の部に、アルペン・クロスカントリー競技合わせて214人の選手が参加し、多くの市民の応援を受け熱戦を繰り広げました。